

指針以外の検査方法のみで実施されている場合、又は個別検診のみ実施されている場合にはご回答は不要です。

平成23年度「チェックリストの使用に関する実態調査」調査票 ＜子宮頸がん検診＞

以下、全ての質問項目に、「○」または「×」でご回答ください
Q1-1、Q1-2、Q9-1では、○の場合は該当番号もご記入ください

Q1-1 対象者の網羅的な名簿を住民台帳に基づいて作成しているか ○の場合は下記 ①～④のうち該当する番号もご記入ください

回答例	○	① 20歳以上の住民全ての名簿が何らかの形(紙台帳、パソコンファイル)で存在する場合 (対象者名簿は定期的に更新し、転入転出、死亡等最新の住民情報を把握する必要がある)
	○	② 住民基本台帳と連動した保健基幹システム等を利用している場合には、20歳以上の住民全てを抽出して対象者名簿に記載している場合
	○	③ 上記①②において、職場検診等の受診機会があることが 明らか な者のみ対象者から除外している場合 (少なくとも国保加入者は全員名簿化している、など)
	○	④ 対象者名簿の作成を外部委託している場合では、その作成方法/内容について市区町村が把握し、①～③のいずれかを満たしている場合 【上記①～③のどのケースに該当するかもお書き下さい 例:回答欄 ○ 番号 ④(①)】
	×	上記①～④以外の場合 前年度受診者や希望者のみ名簿化している場合

回答欄

番号

前問Q1-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q1-2 対象者に均等に受診勧奨を行っているか ○の場合は下記 ①～③のうち該当する番号もご記入ください

回答例	○	① 対象者個人毎 に手紙・電話・訪問等で案内(検診の通知)を行っている場合 (世帯毎ではなく、対象者全員に行なっている場合)
	○	② 世帯毎 に手紙・電話・訪問等で案内(検診の通知)を行っている場合 (対象者全員の名前は示しているが、世帯に一通郵便(通知)等を送る場合)
	○	③ 希望調査を受診勧奨の代わりとしている市区町村においては、 対象者全員 或いは 世帯別(対象者全員の名前を記載) に希望調査を実施している場合
	×	上記①～③以外の場合 広報/チラシでの周知や、 対象者となる全員の個人名の記載がない 各世帯宛の案内、また、節目検診等で対象年齢を制限して勧奨している場合

回答欄

番号

Q2-1 対象者数(推計含む)を把握しているか

回答例	○	① 網羅的な対象者名簿があり、名簿を基に対象者数を把握している場合(実測値)
	○	② 前問「Q1-1」で定義した対象者名簿がなく、国立がん研究センター がん対策情報センターのホームページ ^{①)} に掲載された計算式や、抽出住民へのアンケート等(国民生活基礎調査、国勢調査、県独自の調査)により対象者数を算定している場合(推計値)
	×	上記①②以外の場合

注) 別添「チェックリスト(調査票)に対する解説一覧」参照

回答欄

Q2-2 個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか

回答例	○	① 前問「Q1-1」の網羅的な対象者名簿に、 個人毎 に、検診受診の有無・検診結果・精検結果を記入している場合(紙台帳でもパソコン台帳でも可) また、対象者名簿が無く、受診者のみを記録する受診者台帳を作成している市区町村においても、 個人毎 にこれらの項目が記入されている場合
	○	② 委託先検診機関等が受診者台帳を作成している市区町村においては、 委託先検診機関 全ての受診者台帳について、 個人毎 の検診受診の有無・検診結果・精検結果の記録様式になっていることを確認している場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

前問Q2-2が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q2-2-1 受診者数を年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 受診者数を前問「Q2-2」の受診者台帳を基に集計している場合
		② 委託先検診機関等が受診者数を集計している市区町村においては、全ての機関において、上記の受診者台帳を基に集計されている場合
	×	上記①②以外の場合 個人別の受診歴台帳に基づいた集計以外の場合 また、問診(受診者の申告)で受診歴を把握している場合

回答欄

Q2-2-2 受診者数を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 受診者数を前問「Q2-2」の受診者台帳を基に集計している場合
		② 委託先検診機関等が受診者数を集計している市区町村においては、全ての機関において、上記の受診者台帳を基に集計されている場合
	×	上記①②以外の場合 個人別の受診歴台帳に基づいた集計以外の場合 また、問診(受診者の申告)で受診歴を把握している場合

回答欄

Q2-2-3 受診者数を過去の検診受診歴別※1に集計しているか

回答例	○	① 受診者数を前問「Q2-2」の受診者台帳を基に集計している場合
		② 委託先検診機関等が受診者数を集計している市区町村においては、全ての機関において、上記の受診者台帳を基に集計されている場合
	×	上記①②以外の場合 個人別の受診歴台帳に基づいた集計以外の場合 また、問診(受診者の申告)で受診歴を把握している場合

回答欄

Q2-3 過去3年間の受診歴を記録しているか

回答例	○	① 市区町村において、個人毎の過去3年間の受診情報が把握できる場合(当該年度に初めて受診した者については除く)
		② 委託先検診機関等が把握している市区町村においては、全ての機関で個人毎の3年間の受診情報が把握でき、かつその情報提供を受けている場合 (当該年度に初めて受診した者については除く)
	×	上記①②以外の場合 1~2年分の受診歴のみの場合 また、問診(受診者の申告)で受診歴を把握している場合

回答欄

Q3-1 要精検率を把握しているか

回答例	○	「要精検者数」だけではなく「要精検率」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
		① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等)※2が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q3-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q3-1-1 要精検率を年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等)※2が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること
 ※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
 精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様

前問Q3-1が「×」の場合、下記2つの質問の回答は「×」と記入してください

Q3-1-2 要精検率を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県的生活習慣病管理指導協議会等) ^{#2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q3-1-3 要精検率を過去の検診受診歴別^{#1}に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県的生活習慣病管理指導協議会等) ^{#2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合 (全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q4-1 精検受診率を把握しているか

回答例	○	「精検受診者数」だけでなく「精検受診率」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
		① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{#2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q4-1が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q4-1-1 精検受診率を年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県的生活習慣病管理指導協議会等) ^{#2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q4-1-2 精検受診率を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県的生活習慣病管理指導協議会等) ^{#2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q4-1-3 精検受診率を過去の検診受診歴別^{#1}に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県的生活習慣病管理指導協議会等) ^{#2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合 (全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q2-2 「個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか」の回答が「×」の場合、下記5つの質問は「×」と記入してください

Q4-2 精検未受診率を把握しているか

回答例	○	① 市区町村が、(i)「精検受診」「未受診」「未把握」の定義 ^{※1} に従って未受診者を把握し、(ii)さらに未受診率を集計している場合 両条件が必須
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} 未受診率を集計している市区町村においては、 <u>全ての機関で</u> ①(i)の定義により未受診者を把握し、かつその情報提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 特に、 <u>精検受診者数と精検未受診者数は表裏の関係にはない^{※3}</u> ので要注意

注) 別添「チェックリスト(調査票)に対する解説一覧」参照

回答欄

Q4-3 精検未受診者に精検の受診勧奨を行っているか

回答例	○	① 精検未受診者個人を全員特定し、個人宛に勧奨している場合
		② 委託先検診機関等が精検未受診者への勧奨を実施している市区町村においては、 <u>全ての機関において、精検未受診者全員へ</u> 勧奨している場合
	×	上記①②以外の場合 精検未受診者個人宛の勧奨ではなく、広報やチラシ等による周知のみの場合

回答欄

Q5-1 精密検査結果及び治療の結果報告を精密検査実施機関から受けているか

回答例	○	精検受診者全員の結果を回収するためのシステム ^{※3} が確立している ^{※4} 場合 回収方法 例1) 精検機関から直接市区町村へ報告 例2) 検診機関が精検/治療結果について取りまとめ、市区町村に報告 例3) 精検機関以外(医師会、受診者等)からの報告、または医師会への問い合わせ
		×

回答欄

Q5-2 過去3年間の精密検査結果を記録しているか

回答例	○	① 市区町村において、受診者台帳より個人毎の過去3年間の精検結果が把握できる場合
		② 委託先検診機関等が把握している市区町村においては、 <u>全ての機関で個人毎の過去3年間の精検結果が受診者台帳より</u> 把握でき、かつその情報提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 1~2年分の精検結果のみの場合

回答欄

Q5-3 精密検査の検査方法を把握しているか

回答例	○	精検を受診した全員についての精検方法を個人毎に把握する体制が確立しており ^{※4} 、台帳に記録している場合 把握方法 例1) 精検機関から直接市区町村へ報告 例2) 検診機関が精検方法を取りまとめ、市区町村へ報告 例3) 精検機関以外(医師会、受診者等)からの報告、または医師会や受診者への問い合わせ
		×

回答欄

※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること

※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中程度でも同様

※3) 精検日・受診機関・精検/治療結果の収集方法、これらの結果が届かない場合の確認方法を指す

※4) 精検結果/精検方法の未把握率が5%以下であること

(がん検診事業評価委員会報告書 別添資料「事業評価指標数値一覧」より また、この場合の未把握率は、同報告書P38の定義によるもの)

Q6-1 がん発見率を把握しているか

回答例	○	「発見がん数」だけではなく「がん発見率」を、下記①②のいずれかにより把握している場合 ① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q6-1が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q6-1-1 がん発見率を年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q6-1-2 がん発見率を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q6-1-3 がん発見率を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-1 上皮内がん^{※6}割合(発見がん数に対する上皮内がん数)を把握しているか

回答例	○	「上皮内がん数」だけではなく「上皮内がん割合(率)」を、下記①②のいずれかにより把握している場合 ① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q7-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q7-1-1 上皮内がん割合を年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

前問Q7-1が「×」の場合、下記2つの質問の回答は「×」と記入してください

Q7-1-2 上皮内がん割合を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-1-3 上皮内がん割合を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか
Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-2 微小浸潤がん^{※7}割合(発見がん数に対する微小浸潤がん数)を把握しているか

回答例	○	「微小浸潤がん数」だけでなく「微小浸潤がん割合(率)」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
		① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q7-2が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q7-2-1 微小浸潤がん割合を年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q7-2-2 微小浸潤がん割合を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-2-3 微小浸潤がん割合を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか
Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること

※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様

※6) がんの浸潤が子宮頸部の上皮内のみにとどまるもの

※7) 病期 I a1 期 及び I a2 期のもの

Q8-1 陽性反応適中度を把握しているか

回答例	「発見がん数」だけではなく「陽性反応適中度(率)」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
○	① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q8-1が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q8-1-1 陽性反応適中度を年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	① 市区町村において集計している場合
○	② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q8-1-2 陽性反応適中度を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	① 市区町村において集計している場合
○	② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
×	上記①②以外の場合

回答欄

Q8-1-3 陽性反応適中度を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
○	② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
×	上記①②以外の場合

回答欄

Q9-1 がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか ○の場合は下記 ①②のうち該当する番号もご記入ください

回答例	① 地域保健・健康増進事業報告の記入要領に従って、旧老人保健事業報告で必須だった項目全てが計上できる場合 (厚生労働省に直接報告する指定都市・中核市についても同様)
○	② 地域保健・健康増進事業報告の記入要領に従って、新たに加わった項目(受診歴別集計、早期がん数等)も全て計上できる場合 (厚生労働省に直接報告する指定都市・中核市についても同様)
×	上記①②以外の場合

回答欄 番号

※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること
 ※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
 精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様

Q10-1 委託検診機関の選定に際し、仕様書を作成・提出させてそれを基に判断しているか

回答例	○	① 全ての委託検診機関との間で(i)仕様書が契約前に作成されており、(ii)仕様書に精度管理項目の記載があり、(iii)その精度管理項目の内容を選定基準としている、の3条件を満たしている場合 仕様書の作成は市区町村でも可であり、各検診機関はその施設の実情を記入することで仕様書を完成させること
		② 全ての委託検診機関に、県/市の指導要領等を契約前に渡すことで仕様書の代わりとしている市区町村においては、その指導要領等に精度管理項目の記載がある場合
		③ 県(生活習慣病管理指導協議会等)と委託契約している検診機関を利用している市区町村においては、契約条項中の精度管理項目を把握している場合
		④ 検診機関が一箇所しかない或いは直営のため選定の必要がないという市区町村においては、検診精度管理項目について記載した何らかの書類がある場合
×		上記①～④以外の場合 過去一回だけ(検診機関との契約時)に仕様書を取り交わしたが、その後内容の点検/更新を実施していない場合

回答欄

前問Q10-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q10-1-1 仕様書に必須の精度管理項目を明記させているか

回答例	○	「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書(平成20年3月)」に記載された「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」 ^{※5} の全項目が含まれている場合 ※5) 別添【参考資料】参照 一部の項目の解釈については下記をご参照下さい <input type="checkbox"/> 問診記録・検診結果は少なくとも5年間は保存する → この調査においては、3年間の保存でもよい <input type="checkbox"/> 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせる <input type="checkbox"/> 精密検査の方法や内容について説明する → 検診受診者全員に対する説明は、口頭・説明会・リーフレット等でもよい ただし、要精密検査となった受診者に対しては、精密検査の方法、内容について個別に説明する
		×

回答欄

Q11-1 子宮頸がん検診の対象年齢をお教えてください。該当するものに をつけてください。②の場合は年齢を、③その他の場合は具体的にご記入ください。

- ① 20歳以上全員(指針どおり)
- ② _____歳以上 _____歳まで全員(上限については設定している場合のみ記入)
- ③ その他

Q11-2 子宮頸がん検診について推奨している受診間隔をお教えてください。該当するものに をつけてください。

- 2年に1回
- それ以外

Q12 Q1-1) 対象者の網羅的な名簿を住民台帳に基づいて作成しているか } の質問に○と回答された方にお伺いいたします。
Q1-2) 対象者に均等に受診勧奨を行っているか

受診勧奨に応じなかった対象者全員へ、年度内に再度の受診勧奨を個人別に行っていますか? 該当するものに一つ をつけてください。その他の場合はご記入ください。

- 未受診者に対し全員に個人別に行っている
- 行っていない/その他の方法*で行っている
※) 未受診者のうち対象を絞って行っている、受診者数が定員に満たない場合のみ、広報・チラシ・イベントによる周知等を含む

ご協力ありがとうございました。
よろしければ次ページの質問にもご回答ください。

【質問A】平成22年度(平成22年4月～平成23年3月)内に、子宮頸がん検診の検診体制もしくは事業評価について、都道府県から何かの助言・指導を受けられましたか？もし助言・指導を受けられた場合は、その時期・内容についてお教えてください。

他がんの調査票に記入されたものと同じ場合は☑を付けてください ⇒

【質問B】子宮頸がん検診の体制を改善するため、平成23年度からの新たな取り組みはありますか？もし取り組みがある場合は内容を具体的にお教えてください。

他がんの調査票に記入されたものと同じ場合は☑を付けてください ⇒

< ご意見等ございましたらご記入ください >

チェックリスト(調査票)に対する解説一覧

<p>Q1-1: 対象者の網羅的な名簿を住民台帳に基づいて作成しているか</p> <p>解説: [対象者とは] ・40歳以上/子宮頸がんは20歳以上の者 ・もしくは、①40歳以上人口(子宮頸がんは20歳以上)－②40歳以上の就業者数＋③農林水産業従事者－④要介護4・5の認定者に該当する者[*]</p> <p>※健康増進事業における「対象者」: 今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書(平成20年3月)参照</p> <p>[網羅的とは] 上記の対象者である全住民</p>
<p>Q1-2: 対象者に均等に受診勧奨を行っているか</p> <p>解説: [均等とは] 対象者一個人毎にもれなく</p>
<p>Q2-1: 対象者数(推計含む)を把握しているか</p> <p>解説: [国勢調査による推計対象者数の把握例]</p> <p>厚労省より、「今後の我が国におけるがん検診事業の在り方について報告書」の提案をふまえて算出された推計対象者数が公表された。</p> <p>「推計対象者数」＝①40歳以上人口(子宮頸がんは20歳以上)－②40歳以上の就業者数＋③農林水産業従事者 詳細は国立がん研究センター がん対策情報センターホームページをご覧ください。 【http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html】</p>
<p>Q3-1-3: 要精検率/ Q4-1-3: 精検受診率 / Q6-1-3: がん発見率 / Q7-1-3: 早期がん割合 / Q7-2-3: 微小浸潤がん割合(子宮頸がん) / Q8-1-3: 陽性反応適中度を過去の検診受診歴別に集計しているか</p> <p>解説: [受診歴別] 初回受診者及び逐年受診者を別集計すること</p> <p>[初回受診者の定義]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間に受診歴がない者(胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん) ・前年に受診歴がない者(肺がん)
<p>Q7-2: 粘膜内がんを区別しているか(胃がん・大腸がん)</p> <p>解説: [粘膜内がん] がんの浸潤が粘膜内にとどまるもの</p>
<p>Q7-2: 非浸潤がんを区別しているか(乳がん)</p> <p>解説: [非浸潤がん] がんが乳管や小葉の中にとどまるもの</p>
<p>Q4-2: 精検未受診率を把握しているか</p> <p>解説: [精検受診] 精検機関/検診機関/受診者からの報告、あるいは精検機関/検診機関/受診者への問い合わせにより、精検口・受診機関・精検方法・精検結果が判明した場合。受診していたとしても、4項目が判明しない場合は未把握。</p> <p>[精検未受診] 精検機関/検診機関/受診者からの報告、あるいは精検機関/検診機関/受診者への問い合わせにより、精検を受診しなかったことが判明している場合。及び不適切な精検方法(同報告書p38参照)が実施された場合。</p> <p>[精検未把握] 精検受診と精検未受診に該当しない場合</p>
<p>Q5-1: 精密検査結果及び治療の結果報告を精密検査実施機関から受けているか</p> <p>解説: *地方公共団体等への精密検査の結果の情報提供は、「個人情報の保護に関する法律(平成15年)」において、「公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき」に該当し、必ずしも本人の同意を得る必要はないとされている(「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン(平成16年12月)」)</p>
<p>Q10-1: 委託検診機関の選定に際し、仕様書を作成・提出させてそれを基に判断しているか</p> <p>解説: [仕様書とは] 市町村が民間事業者にがん検診を委託する際には、原則として一般競争入札による契約を行なう。</p> <p>入札の際は、委託基準等を明確に示す必要があり、これを示す文書を「仕様書」と呼称する。この「仕様書」には、設備、人員、運営等の精度管理基準等を盛り込むことが重要である。</p> <p>委託元の市町村と委託先となる検診実施機関との間には、委託契約の度に仕様書を作成し検診の実施内容(設備・人員・運営基準等)を確認するべきである。</p>

がん検診事業評価に関する実態調査【都道府県】 — 集計結果一覧

注1) 回収率95.7% (45/47県)

注2) 割合(%)は特に記載がない限り45県に占める割合を示す

注3) 割合(%)は四捨五入して表記したため合計が100にならないことがある

問1-1 健康増進事業について他機関と会議を開催しているか (複数回答可)

(他機関)	未開催		一部開催※		開催		予算決定時期以前に開催	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
市区町村	13	28.9	6	13.3	23	51.1	7	15.6
都道府県医師会	19	42.2	3	6.7	18	40.0	5	11.1
保健所	4	8.9	5	11.1	34	75.6	10	22.2
検診実施機関	23	51.1	2	4.4	16	35.6	4	8.9
その他	18	40.0	4	8.9	17	37.8	5	11.1
都道府県単独	26	57.8	2	4.4	12	26.7	2	4.4
無回答	11	24.4	33	73.3	6	13.3	34	75.6

※トピック別に開催有無が異なる場合

問1-2 他機関とがん検診単独の会議を開催しているか (複数回答可)

(他機関)	未開催		一部開催※		開催		予算決定時期以前に開催	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
市区町村	11	24.4	5	11.1	30	66.7	10	22.2
都道府県医師会	15	33.3	7	15.6	23	51.1	7	15.6
保健所	12	26.7	6	13.3	27	60.0	7	15.6
検診実施機関	16	35.6	5	11.1	24	53.3	8	17.8
その他	19	42.2	3	6.7	18	40.0	4	8.9
都道府県単独	27	60.0	2	4.4	10	22.2	2	4.4
無回答	8	17.8	31	68.9	3	6.7	31	68.9

※がん種別に開催有無が異なる場合

問1-3 会議で話し合う内容について

ア) 国が定めた精度管理数値目標と現状のギャップを把握している

	n	(%)
把握している	42	93.3
把握していない	2	4.4
無回答	1	2.2
	45	100.0

イ) 国が定めた精度管理数値目標と現状のギャップを共有している

	n	(%)
共有している	39	86.7
共有していない	4	8.9
無回答	2	4.4
	45	100.0

ギャップを共有している都道府県(n=39)について、その共有先の機関(複数回答可)

	n	(%)
市区町村	36	92.3
都道府県医師会	30	76.9
保健所	32	82.1
検診機関	32	82.1
その他	16	41.0
無回答	0	0.0 (全回答数39)

ウ) プロセス指標データから抽出されたがん検診事業の課題を検討している

	n	(%)
検討している	36	80.0
検討していない	7	15.6
無回答	2	4.4
	45	100.0

課題を検討している都道府県(n=36)について、その検討の連携先機関(複数回答可)

	n	(%)
市区町村	26	72.2
都道府県医師会	24	66.7
保健所	22	61.1
検診機関	26	72.2
その他	21	58.3
無回答	0	0.0 (全回答数36)

エ) 課題等を踏まえて次年度計画を検討している

	n	(%)
検討している	34	75.6
検討していない	10	22.2
無回答	1	2.2
	45	100.0

次年度計画を検討している都道府県(n=34)について、その検討の連携先機関(複数回答可)

	n	(%)
市区町村	19	55.9
都道府県医師会	18	52.9
保健所	19	55.9
検診機関	20	58.8
その他	18	52.9
無回答	0	0.0 (全回答数34)

オ) 精度管理や受診率向上の参考事例を他機関に提供している

	n	(%)
提供あり	29	34.4
提供なし	15	49.3
無回答	1	16.4
	45	100.0

提供している都道府県(n=29)について、その提供先機関(複数回答可)

	n	(%)
市区町村	29	100.0
都道府県医師会	11	37.9
保健所	19	65.5
検診機関	17	58.6
その他	7	24.1
無回答	0	0.0 (全回答数29)

問2 がん検診事業評価に関する方針・手法を相談できる連携先機関(複数回答可)

	n	(%)
市区町村	25	55.6
都道府県医師会	25	55.6
保健所	23	51.1
検診機関	26	57.8
近隣の都道府県	11	24.4
その他	15	33.3
無回答	10	22.2

問3-1 近隣の都道府県に比べて事業評価を精力的に実施していると思うか

	n	(%)
とてもそう思う	6	13.3
まあそう思う	10	22.2
どちらとも言えない	21	46.7
あまりそう思わない	7	15.6
まったくそう思わない	1	2.2
無回答	-	0.0
	45	100.0

問3-2 問3-1で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した都道府県(n=16)について、そう思う理由(複数回答可)

	n	(%)
トップの意識の高さ	5	31.3
近隣の都道府県の取組に影響を受けた	0	0.0
市町村の姿勢に促されて	3	18.8
以前からの文化	8	50.0
医師会の姿勢	3	18.8
その他	8	50.0
特に理由はない	0	0.0
無回答	0	0.0 (全回答数16)

問4 がん検診担当者の年齢

	n	(%)
20代	6	13.3
30代	15	33.3
40代	18	40.0
50代	4	8.9
60代以上	-	0.0
無回答	2	4.4
	45	100.0

問5 がん検診担当者の性別

	n	(%)
男性	21	46.7
女性	21	46.7
無回答	3	6.7
	45	100.0

問6 がん検診の担当年数

	n	(%)
1年目	15	33.3
2年目	18	40.0
3-5年目	11	24.4
6年目以上		0.0
無回答	1	2.2
	45	100.0

がん検診事業評価に関する実態調査【市区町村】－集計結果一覧

注1)回収率82.1%(1082/1742市区町村)

注2)割合(%)は四捨五入して表記したため合計が100にならないことがある

1.がん検診対象者の台帳整備について

問1 がん検診対象者の定義

	n	(%)
国保対象者のみ	12	1.1
国保+職域の配偶者	309	28.6
対象年齢全員	746	68.9
無回答	15	1.4
合計	1082	100.0

問2 名前、住所、生年月日等を網羅した対象者名簿が整備されている(複数回答)

	n	(%)
胃がん検診	631	58.3
肺がん検診	619	57.2
大腸がん検診	633	58.5
乳がん検診	630	58.2
子宮頸がん検診	627	57.9
5がんとも未整備もしくは無回答	430	39.7 (全回答数再掲1082)

問3-1 対象者を把握する為に使用しているツール

	n	(%)
データ管理システム	934	86.3
excel等	48	4.4
紙による管理	50	4.6
無回答	50	4.6
合計	1082	100.0

問3-2 データ管理システム(n=934)の主な用途

	n	(%)
主にがん検診事業の管理	72	7.7
健康増進事業全体の管理	620	66.4
行政システムの中に組み込まれている	242	25.9
合計	934	100.0

問3-3 データ管理システム(n=934)を導入したきっかけ(複数回答可)

	n	(%)
特定健診の実施	85	9.1
受診者数の増加	144	15.4
業務の効率化	852	91.2
がん検診事業の重点化	116	12.4
その他	114	12.2
無回答	29	3.1 (全回答数再掲934)

問3-4 問3-1で回答したツールで抽出可能な条件(複数回答可)

	n	(%)
性別	935	86.4
年齢	947	87.5
国保加入者	555	51.3
職域で受診機会が無い者	94	8.7
無回答	30	2.8 (全回答数再掲1082)

問3-5 問3-1で回答したツールと住民台帳との紐付け

	n	(%)
紐付いている	932	86.1
紐付いていない	47	4.3
無回答	103	9.5
合計	1082	100.0

問3-6 問3-1で回答したシステムの管理者(複数回答可)

	n	(%)
自分が属する課	813	75.1
自分が属さない他の課	362	33.5
郡市医師会	1	0.1
検診機関	10	0.9
民間委託業者	231	21.3
その他	66	6.1
無回答	93	8.6 (全回答数再掲1082)

問4-1 「がん検診受診者」の定義

(1) 年齢について

	n	(%)
指針に沿う者のみ	868	80.2
指針以外の者も含む	210	19.4
無回答	4	0.4
	1082	100.0

(2) 検査方法について

	n	(%)
指針に沿う者のみ	875	80.9
指針以外の者も含む	200	18.5
無回答	7	0.6
	1082	100.0

問4-2 受診者を把握する為に使用しているツール (複数回答可)

	n	(%)
データ管理システム	949	87.7
excel等	96	8.9
紙による管理	64	5.9
無回答	4	0.4

(全回答数再掲1082)

問4-3 データ管理システム(n=949)の主な用途

	n	(%)
主にごがん検診事業の管理	91	9.6
健康増進事業全体の管理	665	70.1
行政システムの中に組み込まれている	176	18.5
無回答	17	1.8
	949	100.0

問4-4 データ管理システム(n=949)を導入したきっかけ (複数回答可)

	n	(%)
特定健診の実施	84	8.9
受診者数の増加	156	16.4
業務の効率化	867	91.4
がん検診事業の重点化	115	12.1
その他	91	9.6
無回答	11	1.2

(全回答数再掲949)

問4-5 問4-2で回答したツールと住民台帳との紐付け

	n	(%)
紐付いている	915	84.6
紐付いていない	117	10.8
無回答	50	4.6
	1082	100.0

問4-6 問4-2で回答したツールの管理者 (複数回答可)

	n	(%)
自分が属する課	874	80.8
自分が属さない他の課	332	30.7
郡市医師会	7	0.6
検診機関	42	3.9
民間委託業者	237	21.9
その他	36	3.3
無回答	46	4.3

(全回答数再掲1082)

2.がん検診受診率向上のための取り組みについて

問5 検診を実施している市区町村数

	集団検診実施		個別検診実施	
	n	(%)	n	(%)
胃がん検診	1047	96.8	339	31.3
肺がん検診	997	92.1	289	26.7
大腸がん検診	960	88.7	488	45.1
乳がん検診	980	90.6	795	73.5
子宮頸がん検診	882	81.5	915	84.6
無回答もしくは5がんとも未実施	18	1.7	143	13.2

(全回答数再掲1082)

問6 個別検診をひとつでも実施している市区町村(n=939※)について、検診の委託方法

	n	(%)	※問5で「無回答もしくは5がんとも未実施」と回答した143市区町村を除外したもの
委託方法1	403	42.9	1: 市区町村が医師会を通じて診療所・病院へ検診を委託する
委託方法2	214	22.8	2: 1と、市区町村が検診機関へ委託する場合の両方
委託方法3	145	15.4	3: 市区町村が医師会を通さず直接診療所・病院へ検診を委託する
委託方法4	50	5.3	4: 市区町村が検診機関へ一括委託する
委託方法5	89	9.5	5: その他
無回答	38	4.0	
	939	100	(全回答数再掲939)

問7-1 がん検診受診率向上の取り組み(複数回答可)

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
広報紙による受診案内	1029	95.3	991	94.5	1012	94.0	1016	94.3	1009	93.9
回覧板による受診案内	326	30.2	312	29.7	303	28.1	294	27.3	293	27.3
ポスターによる受診案内	381	35.3	364	34.7	395	36.7	396	36.8	390	36.3
かかりつけ医の勧め	167	15.5	161	15.3	205	19.0	167	15.5	187	17.4
青空放送での受診案内	117	10.8	130	12.4	118	11.0	99	9.2	98	9.1
検診会場までの送迎	97	9.0	103	9.8	95	8.8	79	7.3	79	7.4
郵送による個別勧奨	661	61.2	635	60.5	658	61.1	653	60.6	671	62.5
1対1、または対集団の健康教育	359	33.2	348	33.2	363	33.7	388	36.0	388	36.1
その他	324	30.0	303	28.9	309	28.7	329	30.5	329	30.6

(集団または個別検診実施数再掲: 胃がん1080、肺がん1049、大腸がん1077、乳がん1077、子宮頸がん1074)

問7-2 問7-1で郵送による個別勧奨を実施していると回答した市区町村での、詳細な手法(複数回答可)

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
特定健診に同封	417	63.1	420	66.1	436	66.3	351	53.8	353	52.6
がん検診単独案内送付	347	52.5	311	49.0	337	51.2	390	59.7	411	61.3
電話	40	6.1	34	5.4	38	5.8	42	6.4	36	5.4
その他	65	9.8	64	10.1	66	10.0	63	9.6	63	9.4

(郵送による個別受診勧奨実施数再掲: 胃がん661、肺がん635、大腸がん658、乳がん653、子宮頸がん671)

問7-3 問7-1で郵送による個別勧奨を実施していると回答した市区町村での、勧奨対象者(複数回答可)

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
がん検診対象者全員	277	41.9	280	44.1	279	42.4	265	40.6	270	40.2
特定年齢のみ	215	32.5	186	29.3	213	32.4	231	35.4	240	35.8
前年度受診者	93	14.1	77	12.1	92	14.0	67	10.3	76	11.3
前年度未受診者	30	4.5	16	2.5	21	3.2	41	6.3	47	7.0
その他	185	28.0	178	28.0	189	28.7	181	27.7	189	28.2

(郵送による個別受診勧奨実施数再掲: 胃がん661、肺がん635、大腸がん658、乳がん653、子宮頸がん671)

問7-4 個別受診勧奨の障害（複数回答可）

	n	(%)
特になし	179	16.5
財政面の制約	581	53.7
マンパワーの欠如	409	37.8
対象不明確	200	18.5
職域対象者との重複	552	51.0
その他	83	7.7
無回答	61	5.6

（全回答数再掲1082）

問7-5 問7-1で郵送による個別勧奨を実施していると回答した市区町村について、再勧奨実施

	n	(%)
胃がん検診	97	14.7
肺がん検診	95	15.0
大腸がん検診	101	15.3
乳がん検診	112	17.2
子宮頸がん検診	114	17.0

（郵送による個別受診勧奨実施数再掲：胃がん661、肺がん635、大腸がん658、乳がん653、子宮頸がん671）

問8-1 受診率の目標値を設定

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
設定	530	49.0	561	51.8	537	49.6	542	50.1	539	49.8
未設定	473	43.7	480	44.4	468	43.3	475	43.9	474	43.8
無回答・検診未実施	79	7.3	41	3.8	77	7.1	65	6.0	69	6.4
	1082	100	1082	100	1082	100	1082	100	1082	100

135

問8-2 問8-1において受診率目標を1つでも設定していると回答した場合（n=572）、受診率向上対策の評価について

	n	(%)
毎年評価を行っている	325	56.8
毎年ではないが定期的に評価している	184	32.2
評価を全く実施していない	55	9.6
無回答	8	1.4
	572	100

問8-3 受診率を求める際の分子に該当するもの

	n	(%)
健康増進法に基づく検診の総受診者	963	89.0
その他	110	10.2
無回答	9	0.8
	1082	100

問8-4 受診率を求める際の分母に該当するもの

	n	(%)
国保加入者のみ	10	0.9
国保+職域の配偶者	111	10.3
都道府県の指針に従う	438	40.5
市区町村独自の係数	129	11.9
対象年齢の住民全体	180	16.6
その他	202	18.7
無回答	12	1.1
	1082	100.0

問8-5 受診率向上効果进行评估する際、受診率と受診者数のどちらを用いるか（複数回答可）

	n	(%)
受診率	998	92.2
受診者数	614	56.7
無回答	22	2.0 (全回答数再掲1082)

問8-6 受診率向上策を実施した住民について、その効果进行评估する際の比較対象（複数回答可）

	n	(%)
がん検診対象者全体の受診率との比較	850	78.6
年齢階級別の受診率との比較	420	38.8
昨年度同年齢との受診率の比較	543	50.2
その他	64	5.9
無回答	21	1.9 (全回答数再掲1082)

問8-7 受診率向上効果評価結果の次年度以降事業計画への活用

	n	(%)
活用する	902	83.4
活用しない	124	11.5
無回答	56	5.2
	1082	100.0

問9-1 精密検査対象者に精検機関リストを渡しているか

	集団検診						個別検診					
	渡している		渡していない		無回答		渡している		渡していない		無回答	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
胃がん検診	492	47.0	524	50.0	31	3.0	85	25.1	240	70.8	14	4.1
肺がん検診	477	47.8	491	49.2	29	2.9	75	26.0	199	68.9	15	5.2
大腸がん検診	486	50.6	442	46.0	32	3.3	157	32.2	299	61.3	32	6.6
乳がん検診	519	53.0	421	43.0	40	4.1	245	30.8	484	60.9	66	8.3
子宮頸がん検診	364	41.3	484	54.9	34	3.9	210	23.0	632	69.1	73	8.0

(集団検診実施数再掲: 胃がん1047、肺がん997、大腸がん960、乳がん980、子宮頸がん882)
 (個別検診実施数再掲: 胃がん339、肺がん289、大腸がん488、乳がん795、子宮頸がん915)

問9-2 精検対象者へ依頼書・報告書を渡しているか

	集団検診						個別検診					
	渡している		渡していない		無回答		渡している		渡していない		無回答	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
胃がん検診	988	94.4	37	3.5	22	2.1	257	75.8	60	17.7	22	6.5
肺がん検診	927	93.0	39	3.9	31	3.1	224	77.5	48	16.6	17	5.9
大腸がん検診	895	93.2	36	3.8	29	3.0	388	79.5	72	14.8	28	5.7
乳がん検診	912	93.1	38	3.9	30	3.1	587	73.8	143	18.0	65	8.2
子宮頸がん検診	823	93.3	37	4.2	22	2.5	669	73.1	178	19.5	68	7.4

(集団検診実施数再掲: 胃がん1047、肺がん997、大腸がん960、乳がん980、子宮頸がん882)
 (個別検診実施数再掲: 胃がん339、肺がん289、大腸がん488、乳がん795、子宮頸がん915)

問9-3 精検対象者への受診勧奨方法 (複数回答可)

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
手紙・封書受診勧奨	555	53.0	510	51.2	495	51.6	494	50.4	437	49.5
電話	719	68.7	681	68.3	667	69.5	674	68.8	622	70.5
戸別訪問	181	17.3	175	17.6	170	17.7	180	18.4	169	19.2

(集団検診実施数再掲: 胃がん1047、肺がん997、大腸がん960、乳がん980、子宮頸がん882)

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
手紙・封書受診勧奨	135	39.8	113	39.1	204	41.8	295	37.1	339	37.0
電話	156	46.0	131	45.3	229	46.9	428	53.8	500	54.6
戸別訪問	29	8.6	21	7.3	35	7.2	70	8.8	73	8.0

(個別検診実施数再掲: 胃がん339、肺がん289、大腸がん488、乳がん795、子宮頸がん915)